

教科・科目	外国語・ステップアップ英語	単位数	4（前期2＋後期2）		
		ライン	1	開講期	前期と後期
備考					

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>(1) 英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付ける。</p> <p>(2) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、英語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を身に付ける。</p> <p>(3) 英語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を身に付ける。</p>				
使用教科書 副教材等	Revised Amity English Communication I（開隆堂）		（放送視聴） NHK 高校講座「ベーシック英語」		

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、英語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を身に付けている。	英語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を身に付けようとしている。
評価点	前期 50 点/後期 50 点	前期 50 点/後期 50 点	前期 50 点/後期 50 点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	GET READY Lesson 1 The Beautiful Scenery Lesson 2 My Best Friend	・レポート ・試験	・レポート ・試験	・レポート ・試験
	評価点	50 点	50 点	50 点
後期	Lesson 3 Love for Dance Lesson 4 The Capsule Toys Lesson 5 The History of Chocolate	・レポート ・試験	・レポート ・試験	・レポート ・試験
	評価点	50 点	50 点	50 点

4 単位修得の条件（次の「スクーリング」、「レポート」、「試験」の条件をすべて満たすことが必要。）

スクーリング	前期 8 回以上、後期 8 回以上出席すること。	
	放送視聴について	各期 2 回までスクーリング回数を免除することができる。（視聴 4 回で 1 回分） NHK 高校講座「ベーシック英語」前期：第 1・2・3・4 回、第 5・6・7・8 回 後期：第 9 回・10 回・11 回・12 回、第 13 回・14 回・15 回・16 回
	教科別質問教室について	各期 2 回までスクーリング回数に含めることができる。
レポート	前 1 回～前 6 回、後 1 回～後 6 回のすべてに合格すること。	
試験	前期 1 回、後期 1 回、それぞれに合格すること。	

「メディア利用（NHK 高校講座）」は学習を深めるために活用してください。NHK 高校講座の番組名は⑥、⑦ページにあります。
放送視聴ではありませんのでスクーリングの出席とは関係ありません。

5 学習の記録		添削担当者				先生				登録	
スクーリング回数	学習内容	レポート				スクーリング実施日				メディア利用(NHK 高校講座)	
		回	提出日・合格			日 S	月 S	火 S	木 S		
前期	①	GET READY 日付・アルファベット	前 1	1	2	4/19	4/20	—	4/23	第 1 回	
	3		4								
	②	GET READY 辞書の使い方	前 2	1	2	5/10	5/11	—	5/14	第 2 回	
	3		4								
	③	Lesson 1 The Beautiful Scenery be 動詞・一般動詞の現在形	前 3	1	2	5/24	5/25	—	5/28	第 7 回	
	3		4								
	④		前 4	1	2	6/7	6/8	—	6/11	第 8 回	
	3		4								
⑤	Lesson 2 My Best Friend be 動詞・一般動詞の過去形	前 5	1	2	6/21	6/22	—	6/25	第 11 回		
3		4									
⑥		前 6	1	2	7/5	7/6	—	7/9	第 14 回		
3		4									
⑦	前期の復習 (be 動詞)	—	合格した放送視聴の記録			7/19	7/13	—	7/23		
⑧	前期の復習 (一般動詞)	—	教科別質問教室に出席した日			7/26	7/27	—	7/30		
試験	レポート前 1～前 6 の内容		本試験		追再試	8/23	8/24	—	8/27		
後期	⑨	Lesson 3 Love for Dance 進行形・助動詞	後 1	1	2	10/11	10/19	—	10/15	第 16 回	
	3		4								
	⑩		後 2	1	2	10/25	10/26	—	10/29	第 17 回	
	3		4								
	⑪	Lesson 4 The Capsule Toys 不定詞	後 3	1	2	11/8	11/9	—	11/5	第 6 回	
	3		4								
	⑫		後 4	1	2	11/22	11/16	—	11/26		
	3		4								
⑬	Lesson5 The History of Chocolate 動名詞	後 5	1	2	12/6	12/7	—	12/10	第 21/ 22 回		
3		4									
⑭		後 6	1	2	12/20	12/21	—	12/24	第 23/ 24 回		
3		4									
⑮	後期の復習	—	合格した放送視聴の記録			1/10	1/18	—	1/14		
⑯	1 年間の復習	—	教科別質問教室に出席した日			1/24	1/25	—	1/21		
試験	レポート後 1～後 6 の内容		本試験		追再試	2/7	2/8	—	2/4		

6 先生からのメッセージ

基礎的な内容の復習を中心に進めていきます。なるべくスクーリングに参加して学習するようにしてください。レポートは早めに取り組み、分からないことがあれば質問して完成させ、提出目標までに提出できるようにしましょう。

教科・科目	外国語・英語コミュニケーションⅠ	単位数	4（前期2＋後期2）		
		ライン	1、2	開講期	前期と後期
備考	令和3年度以前の教育課程読み替え科目：コミュニケーション英語Ⅰ				

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>英語学習の特質を踏まえ、学習指導要領が示す、聞くこと、読むこと、話すこと[やり取り]、話すこと[発表]、書くことの五つの領域別に設定する目標の実現を目指した指導を通して、以下の(1)及び(2)に示す資質・能力を一体的に育成するとともに、その過程を通して、(3)に示す資質・能力を育成する。</p> <p>(1) 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付ける。</p> <p>(2) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を身に付ける。</p> <p>(3) 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を身に付ける。</p>
使用教科書 副教材等	<p>All Aboard! English Communication I Revised（東京書籍）</p> <p>All Aboard! English Communication I Revised 学習書 令和8年度改訂版（NHK 出版）</p> <p>（放送視聴）NHK 高校講座「英語コミュニケーションⅠ」</p>

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を身に付けている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を身に付けている。
評価点	前期 50 点/後期 50 点	前期 50 点/後期 50 点	前期 50 点/後期 50 点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	Pre-Lesson 1、2 be 動詞、一般動詞 Lesson 1 過去形 Lesson 2 進行形 Lesson 3 助動詞 Lesson 4 to 不定詞 Lesson 5 動名詞	レポート 試験	レポート 試験	レポート 試験
	評価点	50 点	50 点	50 点
後期	英文の仕組み Lesson 6 受け身 Lesson 7 比較表現 Lesson 8 現在完了形 Lesson 9 名詞を後ろから説明する分詞 Lesson 10 関係代名詞	レポート 試験	レポート 試験	レポート 試験
	評価点	50 点	50 点	50 点

4 単位修得の条件（次の「スクーリング」、「レポート」、「試験」の条件をすべて満たすことが必要。）

スクーリング	前期8回以上、後期8回以上出席すること。	
	放送視聴について	各期2回までスクーリング回数を免除することができる。（視聴2回で1回分） NHK 高校講座「英語コミュニケーションⅠ」前期：第7回・10回、第15回・19回 後期：第28回・32回、第37回・39回
	教科別質問教室について	各期2回までスクーリング回数に含めることができる。
レポート	前1回～後6回、後1回～後6回のすべてに合格すること。	
試験	前期1回、後期1回、それぞれに合格すること。	

「メディア利用（NHK 高校講座）」は学習を深めるために活用してください。NHK 高校講座の番組名は⑥、⑦ページにあります。
放送視聴ではありませんのでスクーリングの出席とは関係ありません。

5 学習の記録

5 学習の記録		添削担当者				先生				登録	メディア 利用(NHK 高校講座)
スクーリング 回数	学 習 内 容	レポート				スクーリング実施日					
		回	提出日・合格			日S	月S	火S	木S		
前期	①	Warm-Up Pre-Lesson 1 be 動詞 Pre-Lesson 2 一般動詞	前1	1 3	2 4	4/19	4/20	4/21	4/23	第2 /3回	
	②	Lesson 1 Breakfast around the World 過去形	前2	1 3	2 4	5/10	5/11	5/12	5/14	第4 /5回	
	③	Lesson 2 Australia's Cute Quokkas 進行形	前3	1 3	2 4	5/24	5/25	5/26	5/28	第6 /7回	
	④	Lesson 3 Life with Spade 助動詞	前4	1 3	2 4	6/7	6/8	6/9	6/11	第8 /9回	
	⑤	Lesson 4 A Miracle Mirror to 不定詞	前5	1 3	2 4	6/21	6/22	6/23	6/25	第11/13 14/17回	
	⑥	Lesson 5 A Dream Engine 動名詞	前6	1 3	2 4	7/5	7/6	7/7	7/9	第17 /18回	
	⑦	前期の復習①	—	合格した放送視聴の記録			7/19	7/13	7/21	7/23	
	⑧	前期の復習②	—	教科別質問教室に出席した日			7/26	7/27	7/28	7/30	
試験	レポート前1～前6の内容		本 試 験		追 再 試	8/23	8/24	8/25	8/27		
後期	⑨	英文の仕組み	後1	1 3	2 4	10/11	10/19	10/13	10/15	第7回	
	⑩	Lesson 6 A Funny Picture from the Edo Period 受け身	後2	1 3	2 4	10/25	10/26	10/27	10/29	第21 /22回	
	⑪	Lesson 7 A Diary of Hope 比較表現	後3	1 3	2 4	11/8	11/9	11/10	11/5	第23/24 /25回	
	⑫	Lesson 8 A Door to a New Life 現在完了形	後4	1 3	2 4	11/22	11/16	11/24	11/26	第26 /27回	
	⑬	Lesson 9 Ghosts in the Oceans 名詞 を後ろから説明する分詞	後5	1 3	2 4	12/6	12/7	12/8	12/10	第30 /31回	
	⑭	Lesson 10 Pigs from across the Sea 関係代名詞	後6	1 3	2 4	12/20	12/21	12/22	12/24	第35 /36回	
	⑮	後期の復習	—	合格した放送視聴の記録			1/10	1/18	1/12	1/14	
	⑯	1年間の復習	—	教科別質問教室に出席した日			1/24	1/25	1/26	1/21	
試験	レポート後1～後6の内容		本 試 験		追 再 試	2/7	2/8	2/9	2/4		

6 先生からのメッセージ

高校英語の基礎を学びます。レポートは、教科書、学習書を参考にしながら早めに取り組み、最後まであきらめずに完成させましょう。合格した後は何度もレポートの問題を解いて、学習内容への理解を深めましょう。分からないところは、教科別質問教室に参加するなどして質問してみましよう。NHK 高校講座も活用してみてください。

教科・科目	外国語・英語コミュニケーションⅡ	単位数	4（前期2＋後期2）		
		ライン	2	開講期	前期と後期
備考					

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>英語学習の特質を踏まえ、学習指導要領が示す、聞くこと、読むこと、話すこと[やり取り]、話すこと[発表]、書くことの五つの領域別に設定する目標の実現を目指した指導を通して、以下の(1)及び(2)に示す資質・能力を一体的に育成するとともに、その過程を通して、(3)に示す資質・能力を育成する。</p> <p>(1) 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付ける。</p> <p>(2) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を身に付ける。</p> <p>(3) 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を身に付ける。</p>		
使用教科書	All Aboard! English Communication II（東京書籍）	（放送視聴）	
副教材等	All Aboard! English Communication II 学習書（NHK 出版）	NHK 高校講座「英語コミュニケーションⅡ」	

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を身に付けている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を身に付けている。
評価点	前期 50 点/後期 50 点	前期 50 点/後期 50 点	前期 50 点/後期 50 点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	Pre-Lesson My Plans for This Year Lesson 1 A Colorful Island Lesson 2 With the Beatles Lesson 3 Wild Men Lesson 4 Little Hero Lesson 5 Special Makeup in Kabuki	・レポート ・試験	・レポート ・試験	・レポート ・試験
	評価点	50 点	50 点	50 点
後期	Lesson 6 Seeds for Future Generations Lesson 7 Over the Wall Lesson 8 Inspiration from Nature Lesson 9 The Bitter Truth behind Chocolate Lesson 10 Fighting Angel Reading 1 Mujina Reading 2 Bear's Pie	・レポート ・試験	・レポート ・試験	・レポート ・試験
	評価点	50 点	50 点	50 点

4 単位修得の条件（次の「スクーリング」、「レポート」、「試験」の条件をすべて満たすことが必要。）

スクーリング	前期 8 回以上、後期 8 回以上出席すること。	
	放送視聴について	各期 2 回までスクーリング回数を免除することができる。（視聴 2 回で 1 回分） NHK 高校講座「英語コミュニケーションⅡ」前期：第 5 回・8 回、第 11 回・14 回 （ラジオ）後期：第 23 回・27 回、第 31 回・35 回
	教科別質問教室について	各期 2 回までスクーリング回数に含めることができる。
レポート	前 1 回～後 6 回、後 1 回～後 6 回のすべてに合格すること。	
試験	前期 1 回、後期 1 回、それぞれに合格すること。	

「メディア利用（NHK 高校講座）」は学習を深めるために活用してください。NHK 高校講座の番組名は⑥、⑦ページにあります。
放送視聴ではありませんのでスクーリングの出席とは関係ありません。

5 学習の記録		添削担当者				先生				登録	
スクーリング回数	学習内容	レポート				スクーリング実施日				メディア利用(NHK 高校講座)	
		回	提出日・合格			日S	月S	火S	木S		
前期	①	Pre-Lesson My Plans for This Year	前1	1	2	4/19	—	4/21	4/23	第2回	
				3	4						
	②	Lesson 1 A Colorful Island 関係代名詞	前2	1	2	5/10	—	5/12	5/14	第3/4 /5回	
				3	4						
	③	Lesson 2 With the Beatles 比較表現	前3	1	2	5/24	—	5/26	5/28	第6/7 /8回	
				3	4						
	④	Lesson 3 Wild Men itの用法	前4	1	2	6/7	—	6/9	6/11	第9/10 /11回	
				3	4						
	⑤	Lesson 4 Little Hero 間接疑問文	前5	1	2	6/21	—	6/23	6/25	第12/13 /14回	
			3	4							
⑥	Lesson 5 Special Makeup in Kabuki to 不定詞を含む表現	前6	1	2	7/5	—	7/7	7/9	第16/17 18/19回		
			3	4							
⑦	言語活動	—	合格した放送視聴の記録			7/19	—	7/21	7/23		
⑧	前期の復習	—	教科別質問教室に出席した日			7/26	—	7/28	7/30		
試験	レポート前1～前6の内容		本試験		追再試	8/23	—	8/25	8/27		
後期	⑨	Lesson 6 Seeds for Future Generations 動詞の目的語になる if 節	後1	1	2	10/11	—	10/13	10/15	第20/21 22/23回	
				3	4						
	⑩	Lesson 7 Over the Wall 関係副詞	後2	1	2	10/25	—	10/27	10/29	第24/25 26/27回	
				3	4						
	⑪	Lesson 8 Inspiration from Nature 知覚動詞	後3	1	2	11/8	—	11/10	11/5	第28/29 30/31回	
				3	4						
	⑫	Lesson 9 The Bitter Truth behind Chocolate 使役動詞	後4	1	2	11/22	—	11/24	11/26	第32/33 34/35回	
				3	4						
	⑬	Lesson 10 Fighting Angel 分詞構文	後5	1	2	12/6	—	12/8	12/10	第37/38 39/40回	
			3	4							
⑭	Reading 1 Mujina Reading 2 Bear's Pie	後6	1	2	12/20	—	12/22	12/24			
			3	4							
⑮	言語活動	—	合格した放送視聴の記録			1/10	—	1/12	1/14		
⑯	後期の復習	—	教科別質問教室に出席した日			1/24	—	1/26	1/21		
試験	レポート後1～後6の内容		本試験		追再試	2/7	—	2/9	2/4		

6 先生からのメッセージ

英語コミュニケーションⅡは、英語コミュニケーションⅠを修得した人が登録できる科目です。英語コミュニケーションⅠの内容をさらに発展させ、自分の考えなどを英語で表現できるよう、学習を深めていきます。レポートで学習した単語や文法事項を、使えるようになるまで何度も繰り返し学習しましょう。NHK 高校講座も活用しましょう。

教科・科目	外国語・論理・表現Ⅰ	単位数	2（前期1＋後期1）		
		ライン	3	開講期	前期と後期
備考					

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>英語学習の特質を踏まえ、学習指導要領が示す、話すこと[やり取り]、話すこと[発表]、書くことの三つの領域別に設定する目標の実現を目指した指導を通して、以下の(1)及び(2)に示す資質・能力を一体的に育成するとともに、その過程を通して、(3)に示す資質・能力を育成する。</p> <p>(1) 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付ける。</p> <p>(2) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を身に付ける。</p> <p>(3) 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を身に付ける。</p>				
使用教科書 副教材等	MY WAY Logic and Expression I New Edition（放送視聴） （三省堂） NHK 高校講座「論理・表現Ⅰ」				

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を身に付けている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を身に付けている。
評価点	前期 50 点/後期 50 点	前期 50 点/後期 50 点	前期 50 点/後期 50 点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	Lesson 1 Let's Talk about Ourselves Lesson 2 School Life Lesson 3 The Arts Lesson 4 Food and Culture Lesson 5 Welcome to Our Town	・レポート ・試験	・レポート ・試験	・レポート ・試験
	評価点	50 点	50 点	50 点
後期	Lesson 6 Traveling Abroad Lesson 7 Sports Lesson 8 Future Mobility Lesson 9 Take Care Lesson 10 Technology Changes Our Lives	・レポート ・試験	・レポート ・試験	・レポート ・試験
	評価点	50 点	50 点	50 点

4 単位修得の条件（次の「スクーリング」、「レポート」、「試験」の条件をすべて満たすことが必要。）

スクーリング	前期4回以上、後期4回以上出席すること。	
	放送視聴について	各期1回までスクーリング回数を免除することができる。（視聴2回で1回分） NHK 高校講座「論理・表現Ⅰ」前期：第4回・5回 後期：第13回・14回
	教科別質問教室について	各期1回までスクーリング回数に含めることができる。
レポート	前1回～前6回、後1回～後6回のすべてに合格すること。	
試験	前期1回、後期1回、それぞれに合格すること。	

「メディア利用（NHK 高校講座）」は学習を深めるために活用してください。NHK 高校講座の番組名は⑥、⑦ページにあります。
放送視聴ではありませんのでスクーリングの出席とは関係ありません。

5 学習の記録

		添削担当者				先生				登録	
スクーリング回数	学習内容	レポート				スクーリング実施日				メディア利用(NHK 高校講座)	
		回	提出日・合格			日S	月S	火S	木S		
前期	① Lesson1 現在形 (be 動詞・一般動詞)	前1	1		2	4/19	—	4/21	4/16	第1回	
			3		4						
	② Lesson2 過去形 (be 動詞・一般動詞) 現在進行形・過去進行形	前2	1		2	5/10	—	5/12	5/7	第3回	
			3		4						
	③ Lesson3 未来表現・基本時制のまとめ	前3	1		2	5/24	—	5/26	5/21	第13回	
			3		4						
	④ Lesson4 現在完了形①	前4	1		2	6/7	—	6/9	6/4	第8回	
			3		4						
⑤	この回は、実施されません。										
⑥ Lesson4 現在完了形②現在完了進行形	前5	1		2	7/5	—	7/7	7/2			
		3		4							
⑦ Lesson5 助動詞・受動態	前6	1		2	7/19	—	7/21	7/16	第33回		
		3		4							
⑧	この回は、実施されません。		合格した放送視聴の記録			教科別質問教室に出席した日					
試験	レポート前1～前6の内容		本試験		追再試	8/23	—	8/25	8/27		
後期	⑨ Lesson6 不定詞①②	後1	1		2	10/11	—	10/13	10/8	第10回	
			3		4						
	⑩ Lesson7 動名詞 分詞の後置修飾・分詞構文	後2	1		2	10/25	—	10/27	10/22	第15回	
			3		4						
	⑪	この回は、実施されません。									
	⑫ Lesson8 比較①②	後3	1		2	11/22	—	11/24	11/19	第28回	
			3		4						
	⑬ Lesson9 関係代名詞①②	後4	1		2	12/6	—	12/8	12/3	第26回	
3				4							
⑭ Lesson10 関係副詞	後5	1		2	12/20	—	12/22	12/17	第38回		
		3		4							
⑮ Lesson10 仮定法	後6	1		2	1/10	—	1/12	1/7	第39回		
		3		4							
⑯	この回は、実施されません。		合格した放送視聴の記録			教科別質問教室に出席した日					
試験	レポート後1～後6の内容		本試験		追再試	2/7	—	2/9	2/4		

6 先生からのメッセージ

英語の文法について基本的な知識を身に付けていきます。英語の文化的な背景など興味を持って学べるテキストを使用しています。スクーリングだけでなく、NHK 講座を利用したり英検問題に挑戦したりするなど、スクーリング以外の学習時間も確保し「分かる」「できる」をたくさん増やして欲しいと思います。

教科・科目	外国語・論理・表現Ⅱ	単位数	2（前期1＋後期1）		
		ライン	4	開講期	前期と後期
備考					

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>英語学習の特質を踏まえ、学習指導要領が示す、話すこと[やり取り]、話すこと[発表]、書くことの三つの領域別に設定する目標の実現を目指した指導を通して、以下の(1)及び(2)に示す資質・能力を一体的に育成するとともに、その過程を通して、(3)に示す資質・能力を育成する。</p> <p>(1) 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付ける。</p> <p>(2) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を身に付ける。</p> <p>(3) 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を身に付ける。</p>
使用教科書 副教材等	MY WAY Logic and Expression II（三省堂）

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を身に付けている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を身に付けている。
評価点	前期 50 点/後期 50 点	前期 50 点/後期 50 点	前期 50 点/後期 50 点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	Lesson 1 I Love My Country! Lesson 2 The New Wave of Sports Lesson 3 The Future of Technology Lesson 4 Rediscover <i>Kabuki</i> Lesson 5 Will Our Lives Change with AI?	レポート 試験	レポート 試験	レポート 試験
	評価点	50 点	50 点	50 点
後期	Lesson 6 Experience Madagascar's Wildlife Lesson 7 Can We Go and Live on Mars? Lesson 8 Language and Society Lesson 9 Send Our Love to the World Lesson 10 Follow in Our Hero's Footsteps	レポート 試験	レポート 試験	レポート 試験
	評価点	50 点	50 点	50 点

4 単位修得の条件（次の「スクーリング」、「レポート」、「試験」の条件をすべて満たすことが必要。）

スクーリング	前期4回以上、後期4回以上出席すること。
	放送視聴について 実施しない。 教科別質問教室について 各期1回までスクーリング回数に含めることができる。
レポート	前1回～前6回、後1回～後6回のすべてに合格すること。
試験	前期1回、後期1回、それぞれに合格すること。

「メディア利用（NHK 高校講座）」は学習を深めるために活用してください。NHK 高校講座の番組名は⑥、⑦ページにあります。
放送視聴ではありませんのでスクーリングの出席とは関係ありません。

5 学習の記録

スクーリング回数		学習内容	添削担当者				先生				登録	メディア利用(NHK高校講座)
			レポート				スクーリング実施日					
			回	提出日・合格			日S	月S	火S	木S		
前期	①	Lesson 1 Love My Country! 現在完了形、過去完了形、 未来を表す表現	前1	1	2		4/19	—	4/21	4/23	第4回	
	3	4										
	②	Lesson 2 The New Wave of Sports 助動詞 助動詞+ have + 過去分詞 be + to 不定詞	前2	1	2		5/10	—	5/12	5/14		
	3	4										
	③	Lesson 3 The Future of Technology 受動態、不定詞①	前3	1	2		5/24	—	5/26	5/28	第11回	
	3	4										
	④	Lesson 4 Rediscover <i>Kabuki</i> 不定詞②、知覚動詞、使役動詞	前4	1	2		6/7	—	6/9	6/11	第33回	
	3	4										
⑤	Lesson 5 Will Our Lives Change with AI? 動名詞	前5	1	2		6/21	—	6/23	6/25	第22回		
3	4											
⑥	この回は、実施されません。											
⑦	Lesson 5 Will Our Lives Change with AI? 分詞構文、〈with +O+分詞〉	前6	1	2		7/19	—	7/21	7/23	第22回		
3	4											
⑧	この回は、実施されません。					教科別質問教室に出席した日						
試験	レポート前1～前6の内容		本試験		追再試	8/23	—	8/25	8/27			
後期	⑨	Lesson 6 Experience Madagascar's Wildlife 比較	後1	1	2		10/11	—	10/13	10/15	第5回	
	3	4										
	⑩	Lesson 7 Can We Go and Live on Mars? 関係代名詞、関係副詞	後2	1	2		10/25	—	10/27	10/29	第18回	
	3	4										
	⑪	Lesson 8 Language and Society 仮定法	後3	1	2		11/8	—	11/10	11/5	第29回	
	3	4										
	⑫	Lesson 9 Send Our Love to the World 否定の表現、代名詞 を使った表現	後4	1	2		11/22	—	11/24	11/26	第19回	
	3	4										
⑬	Lesson 10 Follow in Our Hero's Footsteps 無生物主語	後5	1	2		12/6	—	12/8	12/10	第31回		
3	4											
⑭	この回は、実施されません。											
⑮	Lesson 10 Follow in Our Hero's Footsteps that を使った表現	後6	1	2		1/10	—	1/12	1/14	第31回		
3	4											
⑯	この回は、実施されません。					教科別質問教室に出席した日						
試験	レポート後1～後6の内容		本試験		追再試	2/7	—	2/9	2/4			

6 先生からのメッセージ

論理・表現IIは、論理・表現Iを修得した人が履修することができます。発展的な内容を学習するので、論理・表現Iで学んだ内容を確実に理解していることが必要です。文法が苦手な人は、スクーリングにできるだけ出席しましょう。レポートには学んだことを活用して自分の考えを書く間もあるため、早くから取り組み提出して添削を受けてください。合格した後もレポートの問題を解き学習内容への理解を深めましょう。

教科・科目	外国語・ハングル入門	単位数	2（前期1＋後期1）		
		ライン	3	開講期	前期と後期
備考					

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>(1) ハングルの音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付ける。</p> <p>(2) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、ハングルで情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を身に付ける。</p> <p>(3) ハングルの背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的にハングルを用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を身に付ける。</p>
使用教科書 副教材等	ハングル初級（白水社）

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	ハングルの音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、ハングルで情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を身に付けている。	ハングルの背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的にハングルを用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を身に付けようとしている。
評価点	前期 50 点/後期 50 点	前期 50 点/後期 50 点	前期 50 点/後期 50 点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	ハングルの概要、母音 子音（平音・激音・濃音）、有声音化 終声（パッチム） リエゾン、連音 合成母音 総復習、前期試験対策	・レポート ・試験	・レポート ・試験	・レポート ・試験
	評価点	50 点	50 点	50 点
後期	「第1課 学生です」 「第2課 日本人ではありません」 「第4課 どこにいきますか」 動詞・形容詞の「해요体」 長文の読み 総復習、後期試験対策	・レポート ・試験	・レポート ・試験	・レポート ・試験
	評価点	50 点	50 点	50 点

4 単位修得の条件（次の「スクーリング」、「レポート」、「試験」の条件をすべて満たすことが必要。）

スクーリング	前期6回以上、後期6回以上出席すること。	
	放送視聴について	実施しない。
	教科別質問教室について	各期1回までスクーリング回数に含めることができる。
レポート	前1回～前6回、後1回～後6回のすべてに合格すること。	
試験	前期1回、後期1回、それぞれに合格すること。	

5 学習の記録			添削担当者				先生				登録
スクーリング回数	学習内容	レポート				スクーリング実施日				メディア利用(NHK高校講座)	
		回	提出日・合格			日S	月S	火S	木S		
前期	①	ハンゲルの概要、母音	前1	1	2	4/19	—	4/21	4/16		
		3		4							
	②	子音(平音・激音・濃音)有声音化	前2	1	2	5/10	—	5/12	5/7		
		3		4							
	③	終声(パッチム)	前3	1	2	5/24	—	5/26	5/21		
		3		4							
	④	リエゾン、連音	前4	1	2	6/7	—	6/9	6/4		
		3		4							
⑤	この回は、実施されません。										
⑥	合成母音	前5	1	2	7/5	—	7/7	7/2			
			3	4							
⑦	総復習、前期試験対策	前6	1	2	7/19	—	7/21	7/16			
			3	4							
⑧	この回は、実施されません。				教科別質問教室に出席した日						
試験	レポート前1～前6の内容		本試験	追再試	8/23	—	8/25	8/27			
後期	⑨	第1課 学生です～ですか、です型の文	後1	1	2	10/11	—	10/13	10/8		
				3	4						
	⑩	第2課 日本人ではありません 否定の言い方	後2	1	2	10/25	—	10/27	10/22		
				3	4						
	⑪	この回は、実施されません。									
	⑫	第4課 どこにいけますか 動詞、形容詞 「입니다体、습니다体」	後3	1	2	11/22	—	11/24	11/19		
				3	4						
	⑬	動詞・形容詞の「해요体」	後4	1	2	12/6	—	12/8	12/3		
		3		4							
⑭	長文の読み	後5	1	2	12/20	—	12/22	12/17			
			3	4							
⑮	総復習、後期試験対策	後6	1	2	1/10	—	1/12	1/7			
			3	4							
⑯	この回は、実施されません。				教科別質問教室に出席した日						
試験	レポート後1～後6の内容		本試験	追再試	2/7	—	2/9	2/4			

6 先生からのメッセージ

「ハンゲル」の学習を通して、朝鮮半島に住む人びとの文化や習慣も理解していきます。「ハンゲル」の読み方から始め、挨拶や簡単な会話ができるように面接指導(授業)を進めていきます。日本語と言葉の並び方が似ており、日本語の発音に似た言葉もたくさんあります。積極的に声を出してよく読むことが上達のコツです。スクーリングに休まず出席できる人が受講してください。

教科・科目	外国語・ハンゲル	単位数	4（前期2＋後期2）		
		ライン	4	開講期	前期と後期
備考					

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>(1) ハンゲルの特徴やきまりに関する事項を理解し、コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的・社会的な話題について、聞いたり読んだりした内容を捉えたり、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して伝える技能を身に付ける。</p> <p>(2) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的・社会的な話題について、必要な情報を聞いたり読んだりしてその意図や概要、要点を捉えたり、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合ったり、論理性に注意して伝え合ったりすることができる力を身に付ける。</p> <p>(3) ハンゲルの背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的にハンゲルで聞いたり、読んだり、話したり、書いたりしようとする態度を身に付ける。</p>
使用教科書 副教材等	ハンゲル初級（白水社）

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	ハンゲルの特徴やきまりに関する事項を理解し、コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的・社会的な話題について、聞いたり読んだりした内容を捉えたり、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して伝える技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的・社会的な話題について、必要な情報を聞いたり読んだりしてその意図や概要、要点を捉えたり、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合ったり、論理性に注意して伝え合ったりすることができる力を身に付けている。	ハンゲルの背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的にハンゲルで聞いたり、読んだり、話したり、書いたりしようとする態度を身に付けようとしている。
評価点	前期 50 点/後期 50 点	前期 50 点/後期 50 点	前期 50 点/後期 50 点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	音の変化（発音法則）等 第1課 肯定形・疑問形 第2課 否定形・存在形 第4課 疑問詞の使い方 第5課 命令形・ていねいな命令形 第6課 否定形	・レポート ・試験	・レポート ・試験	・レポート ・試験
	評価点	50 点	50 点	50 点
後期	第7課 過去形 第8課 未来形・尊敬語 第3課 ことわざ①、第9課 ことわざ②・歌 第10課 禁止・願望・形容詞の連体形 第11課 動詞の連体形・進行形 スピーチ	・レポート ・試験	・レポート ・試験	・レポート ・試験
	評価点	50 点	50 点	50 点

4 単位修得の条件（次の「スクーリング」、「レポート」、「試験」の条件をすべて満たすことが必要。）

スクーリング	前期8回以上、後期8回以上出席すること。	
	放送視聴について	実施しない。
	教科別質問教室について	各期2回までスクーリング回数に含めることができる。
レポート	前1回～前6回、後1回～後6回のすべてに合格すること。	
試験	前期1回、後期1回、それぞれに合格すること。	

5 学習の記録		添削担当者				先生				登録		
スクーリング回数	学習内容	レポート				スクーリング実施日				メディア利用(NHK高校講座)		
		回	提出日・合格			日S	月S	火S	木S			
前期	① 音の変化(発音法則) 有声音化、鼻音化、激音化 濃音化、口蓋音化、舌側音化	前1	1		2	4/19	—	4/21	4/23			
			3		4							
	② 第1課 肯定形・疑問形	前2	1		2	5/10	—	5/12	5/14			
			3		4							
	③ 第2課 否定形・存在形	前3	1		2	5/24	—	5/26	5/28			
			3		4							
	④ 第4課 疑問詞の使い方	前4	1		2	6/7	—	6/9	6/11			
			3		4							
⑤ 第5課 命令形・ていねいな命令形	前5	1		2	6/21	—	6/23	6/25				
		3		4								
⑥ 第6課 否定形	前6	1		2	7/5	—	7/7	7/9				
		3		4								
⑦ 前期の復習①	—				7/19	—	7/21	7/23				
⑧ 前期の復習②	—	教科別質問教室に出席した日				7/26	—	7/28	7/30			
試験	レポート前1～前6の内容		本試験		追再試			8/23	—	8/25	8/27	
後期	⑨ 第7課 過去形	後1	1		2	10/11	—	10/13	10/15			
			3		4							
	⑩ 第8課 未来形・尊敬語	後2	1		2	10/25	—	10/27	10/29			
			3		4							
	⑪ 第3課 ことわざ① 第9課 ことわざ②・歌	後3	1		2	11/8	—	11/10	11/5			
			3		4							
	⑫ 第10課 禁止・願望 ハンゲルの歌①	後4	1		2	11/22	—	11/24	11/26			
			3		4							
⑬ 第10課 形容詞の連体形 第11課 動詞の連体形 ハンゲルの歌②	後5	1		2	12/6	—	12/8	12/10				
		3		4								
⑭ 第11課 進行形 長文の音読	後6	1		2	12/20	—	12/22	12/24				
		3		4								
⑮ スピーチ、後期の復習	—				1/10	—	1/12	1/14				
⑯ 1年間の復習	—	教科別質問教室に出席した日				1/24	—	1/26	1/21			
試験	レポート後1～後6の内容		本試験		追再試			2/7	—	2/9	2/4	

6 先生からのメッセージ

「ハンゲル入門」での学習を発展させ、ハンゲルの文法を押さえながらスピーチを作って発表したり、コミュニケーションが取れるように面接指導(授業)を進めていきます。積極的に声を出してよく読むことが上達のコツです。スクーリングに休まず出席できる人が受講してください。

教科・科目	外国語・中国語入門	単位数	2（前期1＋後期1）		
		ライン	3	開講期	前期と後期
備考					

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>1) 中国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付ける。</p> <p>(2) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的话题や社会的な話題について中国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりする力を身に付ける。</p> <p>(3) 中国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に中国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を身に付ける。</p>
使用教科書 副教材等	新・高校版 中国語はじめての一步（白水社）

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	中国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的话题や社会的な話題について中国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりする力を身に付けている。	中国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に中国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を身に付けようとしている。
評価点	前期 50 点/後期 50 点	前期 50 点/後期 50 点	前期 50 点/後期 50 点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	第1課 中国人ですか？ 第2課 これは何ですか？ 第3課 どこへ行きますか？ 第4課 この鞆はいくらですか？ 第5課 午後に用事がありますか？ 第6課 ご飯を食べましたか？	レポート 試験	レポート 試験	レポート 試験
	評価点	50 点	50 点	50 点
後期	第7課 何人家族ですか？ 第8課 何時からアルバイトを始めますか？ 第9課 アメリカに行ったことがありますか？ 第10課 歌は歌えますか？ 第11課 何をしていますか？ 第12課 自己紹介	レポート 試験	レポート 試験	レポート 試験
	評価点	50 点	50 点	50 点

4 単位修得の条件（次の「スクーリング」、「レポート」、「試験」の条件をすべて満たすことが必要。）

スクーリング	前期6回以上、後期6回以上出席すること。	
	放送視聴について	実施しない。
	教科別質問教室について	各期1回までスクーリング回数に含めることができる。
レポート	前1回～前6回、後1回～後6回のすべてに合格すること。	
試験	前期1回、後期1回、それぞれに合格すること。	

5 学習の記録			添削担当者				先生				登録
スクーリング回数	学習内容	レポート				スクーリング実施日				メディア利用(NHK高校講座)	
		回	提出日・合格			日S	月S	火S	木S		
前期	①	第1課 中国人ですか？	前1	1	2	4/19	—	4/21	4/16		
		3		4							
	②	第2課 これは何ですか？	前2	1	2	5/10	—	5/12	5/7		
		3		4							
	③	第3課 どこへ行きますか？	前3	1	2	5/24	—	5/26	5/21		
		3		4							
	④	第4課 この靴はいくらですか？	前4	1	2	6/7	—	6/9	6/4		
		3		4							
⑤	この回は、実施されません。										
⑥	第5課 午後に用事はありますか？	前5	1	2	7/5	—	7/7	7/2			
	3		4								
⑦	第6課 ご飯を食べましたか？	前6	1	2	7/19	—	7/21	7/16			
	3		4								
⑧	この回は、実施されません。				教科別質問教室に出席した日						
試験	レポートの会話部分の内容		本試験	追再試	8/23	—	8/25	8/27			
後期	⑨	第7課 何人家族ですか？	後1	1	2	10/11	—	10/13	10/8		
		3		4							
	⑩	第8課 何時からアルバイトを始めますか？	後2	1	2	10/25	—	10/27	10/22		
		3		4							
	⑪	この回は、実施されません。									
	⑫	第9課 アメリカに行ったことがありますか？	後3	1	2	11/22	—	11/24	11/19		
		3		4							
	⑬	第10課 歌は歌えますか？	後4	1	2	12/6	—	12/8	12/3		
	3	4									
⑭	第11課 何をしていますか？	後5	1	2	12/20	—	12/22	12/17			
	3		4								
⑮	第12課 自己紹介	後6	1	2	1/10	—	1/12	1/7			
	3		4								
⑯	この回は、実施されません。				教科別質問教室に出席した日						
試験	レポートの会話部分の内容		本試験	追再試	2/7	—	2/9	2/4			

6 先生からのメッセージ

基礎的な内容を中心に進めていきます。スクーリングに出席するときは、教科書を忘れないようにしましょう。レポートは分からないことがあれば質問し、早めに提出するようにしましょう。スクーリングに休まず出席できる人が受講してください。

教科・科目	外国語・中国語	単位数	4（前期2＋後期2）		
		ライン	4	開講期	前期と後期
備考					

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>(1) 中国語の特徴やきまりに関する事項を理解し、コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的・社会的な話題について、聞いたり読んだりした内容を捉えたり、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して伝える技能を身に付ける。</p> <p>(2) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的・社会的な話題について、必要な情報を聞いたり読んだりしてその意図や概要、要点を捉えたり、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合ったり、論理性に注意して伝え合ったりすることができる力を身に付ける。</p> <p>(3) 中国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に中国語で聞いたり、読んだり、話したり、書いたりしようとする態度を身に付ける</p>
使用教科書 副教材等	中国語つぎへの一步（白水社）

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	中国語の特徴やきまりに関する事項を理解し、コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的・社会的な話題について、聞いたり読んだりした内容を捉えたり、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して伝える技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的・社会的な話題について、必要な情報を聞いたり読んだりしてその意図や概要、要点を捉えたり、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合ったり、論理性に注意して伝え合ったりすることができる力を身に付けている。	中国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に中国語で聞いたり、読んだり、話したり、書いたりしようとする態度を身に付けようとしている。
評価点	前期 50 点/後期 50 点	前期 50 点/後期 50 点	前期 50 点/後期 50 点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	第1課 中国に行こう！	・レポート ・試験	・レポート ・試験	・レポート ・試験
	第2課 ジャスミン茶を飲もう！			
前期	第3課 友だちをつくろう！	50点	50点	50点
	第4課 長城に登ろう！			
前期	第5課 卓球を楽しもう！	50点	50点	50点
	第6課 漢字を覚えよう！			
前期	第7課 街を歩こう！	50点	50点	50点
	評価点			
後期	第8課 中国映画を見よう！	・レポート ・試験	・レポート ・試験	・レポート ・試験
	第9課 チャイナドレスを買おう！			
後期	第10課 中華を食べよう！	50点	50点	50点
	第11課 西遊記を読もう！			
後期	第12課 春節を祝おう！ メールを出そう！	50点	50点	50点
	評価点			

4 単位修得の条件（次の「スクーリング」、「レポート」、「試験」の条件をすべて満たすことが必要。）

スクーリング	前期8回以上、後期8回以上出席すること。	
	放送視聴について	実施しない。
	教科別質問教室について	各期2回までスクーリング回数に含めることができる。
レポート	前1回～前6回、後1回～後6回のすべてに合格すること。	
試験	前期1回、後期1回、それぞれに合格すること。	

5 学習の記録		添削担当者	先生				登録				
スクーリング回数	学習内容	レポート				スクーリング実施日				メディア利用(NHK高校講座)	
		回	提出日・合格		日S	月S	火S	木S			
前期	① 第1課 中国に行こう！	前1	1	2	4/19	—	4/21	4/23			
			3	4							
	② 第2課 ジャスミン茶を飲もう！	前2	1	2	5/10	—	5/12	5/14			
			3	4							
	③ 第3課 友だちをつくろう！	前3	1	2	5/24	—	5/26	5/28			
			3	4							
	④ 第4課 長城に登ろう！	前4	1	2	6/7	—	6/9	6/11			
			3	4							
⑤ 第5課 卓球を楽しもう！	前5	1	2	6/21	—	6/23	6/25				
		3	4								
⑥ 第6課 漢字を覚えよう！	前6	1	2	7/5	—	7/7	7/9				
		3	4								
⑦ 第7課 街を歩こう！	前6			7/19	—	7/21	7/23				
⑧ 前期の復習①	—	教科別質問教室に出席した日			7/26	—	7/28	7/30			
試験	レポート前1～前6の本文内容		本試験		追再試		8/23	—	8/25	8/27	
後期	⑨ 前期の復習②	後1	1	2	10/11	—	10/13	10/15			
			3	4							
	⑩ 第8課 中国映画を見よう！	後2	1	2	10/25	—	10/27	10/29			
			3	4							
	⑪ 第9課 チャイナドレスを買おう！	後3	1	2	11/8	—	11/10	11/5			
			3	4							
	⑫ 第10課 中華を食べよう！	後4	1	2	11/22	—	11/24	11/26			
			3	4							
⑬ 第11課 西遊記を読もう！	後5	1	2	12/6	—	12/8	12/10				
		3	4								
⑭ 第12課 春節を祝おう！	後6	1	2	12/20	—	12/22	12/24				
		3	4								
⑮ メールを出そう！	後6			1/10	—	1/12	1/14				
⑯ 後期の復習	—	教科別質問教室に出席した日			1/24	—	1/26	1/21			
試験	レポート後1～後6の本文内容		本試験		追再試		2/7	—	2/9	2/4	

6 先生からのメッセージ

レポートは、教科書を参考にしながら取り組み、あきらめずに完成させましょう。QRコードをかざし、音声を聞くことがレポートの問題を解く近道です。分からないところは、教科別質問教室に参加するなどして質問してみましょう。NHK Eテレ「中国語！ナビ」も活用してみてください。スクーリングに休まず出席できる人が受講してください。